

あおぞら

行方市 社協だより

No.57 2020.6.1

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲478 番地1
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>



給食サービス事業

コロナ感染拡大の影響を受け、お弁当を楽しみにされている皆さんには当面の間お休みをせざるを得ない状況になりましたことお詫び申し上げます。

緊急事態宣言が発令され、このような状況の中直前までお弁当作り、配達とご協力をいただきましたボランティアの皆さまありがとうございました。

皆さまの健康、安全を考慮し今後の状況にあわせて対応いたしますので何卒ご理解くださいますようお願いいたします。(写真:昨年度までのを使用)

も く じ

- 会長あいさつ…………… 2
- いきいき長寿者紹介…………… 3
- 令和2年度社協事業計画…………… 4
- 令和2年度社協の予算…………… 5

- 社協の事業案内…………… 6
- ボランティア活動(手作りマスク)…………… 7
- 善意銀行・編集後記…………… 8

会長あいさつ



社会福祉法人行方市社会福祉協議会
会長 鈴木 周也

市民の皆さまには、日頃から、行方市社会福祉協議会の活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、現在、新型コロナウイルス感染症が世界各地で感染拡大の猛威を振るっており、国内においても、全国かつ急速な蔓延により、私たちの日常生活や社会経済がさまざまな影響を受けています。このような中、私も社会福祉協議会では、深刻なマスク不足を受け、手作りマスクを製作し、市内の障害福祉事業所に配布するなど、市民の皆さまの安全と安心を確保するため、感染予防・感染拡大防止に向けた活動を行っています。

いまだ新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えず、長引く社会活動の自粛等により、離職、減収、閉じこ

もりによる運動不足や孤立など、新たな問題が生じており、今後はこれらの解消に向けた対策が重要になってまいります。

社会福祉協議会といたしましては、地域福祉の中核的担い手として、「誰もがみんな ふれ合い 支え合い 助け合うまち なめがた」の基本理念の下、いかなる状況にあっても、人と人とのつながりを絶やさず、誰もが自分らしく普段の生活を送ることができるよう、これまで以上に市民の皆さまの視点に立った、高齢者の生きがいづくり、介護予防、障がい者支援や子育て支援などを着実に進めるとともに、幅広い分野で関係団体と連携し、市民の皆さまが積極的かつ自発的に地域で活動できる仕組みづくりに努めてまいります。

今後も、役職員が一丸となって、市民の皆さまの福祉向上に向けた地域福祉活動を展開してまいりますので、なお一層のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



いきいき長寿者紹介

野原 アサ子さん 91歳 (行方市手賀)



今年7月に92歳になるアサ子さんは、手賀の新田生まれでア

サ子さんの母の実家に嫁がれました。3人の子供に恵まれ、船

大工のご主人と、ワカサギの帆引き船、鯉の養殖をして生計を

たてていました。

鯉の養殖は、現在も息子さん夫婦、孫さん夫婦がしっかりと後を継いでくれています。

現在は、息子さん夫婦、孫さん夫婦、4歳と1歳半のひ孫の四世代7人で暮らしています。

ゲートボール歴36年

今でも現役！56歳から始め全国大会には4回出場しました。第17回の群馬大会では第3位という優秀な成績を収めました。当時、地元新田だけでも5

チームあったのが今では、1チームとなつてしまい、寂しさを感じますと言っていました。

90歳になった時には、最高齢者賞をいただきました。〃体を動かすことが好き〃、動けるうちは一生涯懸命動く〃を信念に毎日の練習には、手押し車を押してゲートボール場まで歩いていきます。



庭の手入れが大好き

とにかく体を動かすことが好き、家の中にいるのが嫌いとい

うアサ子さん、朝ごはんを食べた後には、草抜き、草花の手入れ、野菜作りと雨が降っていない日は必ず外にいます。

家の周りの生け垣は、2週間かけて剪定をします。きれいになるのが楽しみでおもしろいと言っていました。

インタビューに伺った日はとても天気が良く、チューリップなど季節の花がより一層きれいでした。

最後にこれからの目標を聞いてみると、「皆さんとても親切にしてくれるので何歳になっても楽しくゲートボールを続けていきたいです。」と答えてくれました。

最後までこちらの質問に丁寧に答えてくださったアサ子さん、これからもお体に気を付けてお過ごしください。

令和2年度行方市社会福祉協議会事業計画

誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりの実現に向けて住民の皆様や、行政、関係機関と連携して地域福祉の推進に取り組んで参ります。

地域福祉事業

○地域福祉事業の推進

- ・給食サービス事業
- ・介護予防事業

(1)元気でくさくびす館

(2)地域介護予防事業への支援

・コミュニティ活動の積極的支援

(1)生活支援体制整備事業

(2)サロン活動立ち上げ支援

(3)備品貸出事業

○障害者（児）福祉事業

- ・ビックリ・発見・夏キャンプ
- ・のびのびサポート事業
- ・視覚障害者用録音物配布事業
- ・障害者スポーツ振興事業



・親子ふれあい事業

○母子・父子福祉事業

- ・ひとり親家庭事業
- (1)新入学祝品贈呈

○子育て支援事業

- ・子育てサポート事業
- ・養育支援訪問事業

○ボランティア活動の推進

- ・ボランティアセンターの運営強化
- ・ボランティア講座の実施

- ・ボランティアグループの育成・援助
- ・福祉教育の推進

○共同募金運動

○歳末たすけあい運動

○福祉関係団体の支援



相談支援事業

○法律相談事業

○日常生活自立支援事業

資金貸付事業

○生活福祉資金貸付事業

在宅生活支援事業

○福祉機器（車いす等）貸出事業

○福祉車輛貸出事業

○訪問歯科診療器具貸出事業

○在宅言語リハビリアドバイス事業

○在宅福祉サービスセンター運営事業

広報啓発事業

○広報紙「あおぞら」の発行

○ホームページの管理運営

○SNS等の活用

○なめがたエリアテレビ等の活用

介護保険事業

○居宅介護支援事業

○訪問介護事業

○地域包括支援センター

○地域包括支援センター



障害者総合支援事業

○居宅介護

○重度訪問介護

○同行援護

○行動援護

○計画相談支援

地域生活支援事業

○移動支援事業

○地域活動支援センター

その他社会福祉関連事業

○デマンド型コミュニティバス（乗合タクシー）事業

○福祉バスの管理運営事業

当事者団体支援事業

○行方市ボランティア連絡協議会

○行方市老人クラブ連合会

○行方市身体障害者福祉協議会

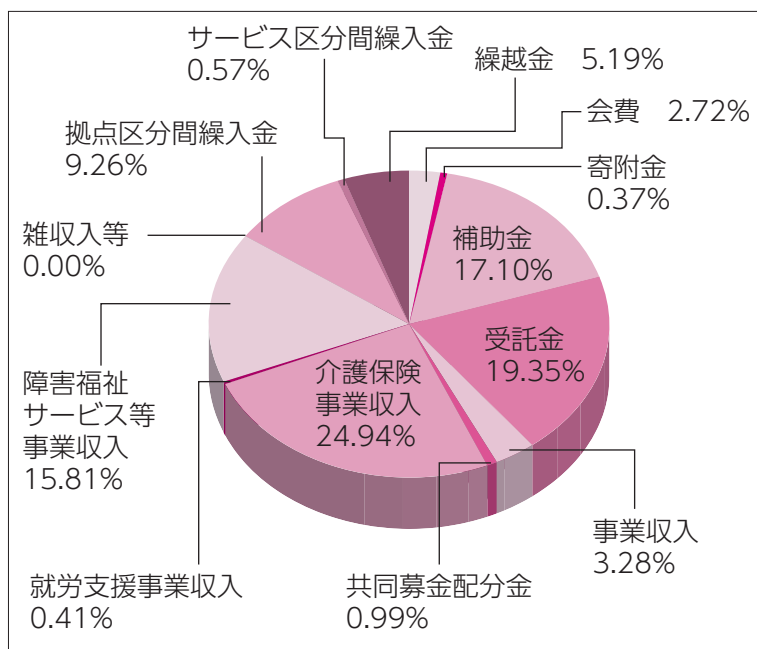
○行方市遺族会

令和2年度 行方市社会福祉協議会予算

令和2年度予算は3月の理事会・評議員会で議決され決定しました。住民の皆様からの会費、寄附金、ホームヘルプサービスによる介護報酬、ドリームハウスによる訓練等収入のほかに市からの補助金・受託金や共同募金等を財源としており様々な福祉事業に活用されます。

予算総額 349,138,000円

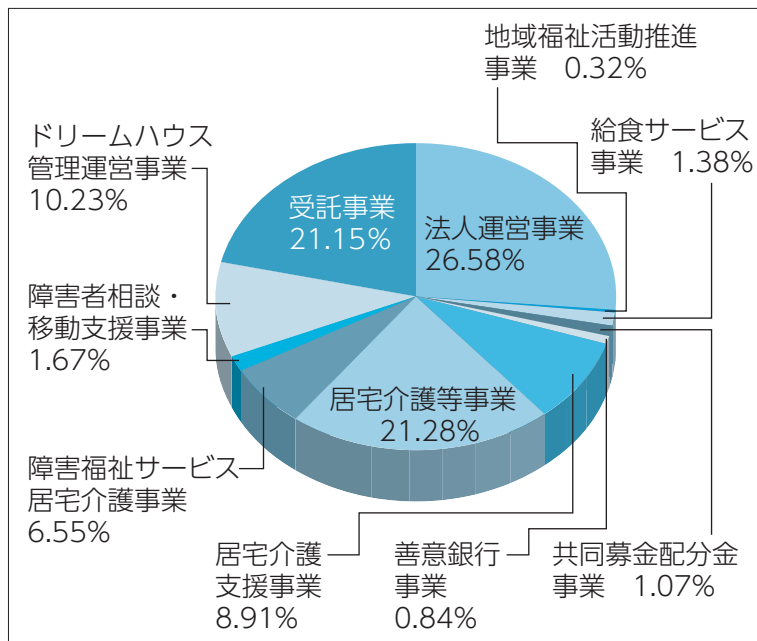
収 入



(単位：千円)

会	費	9,510
寄	附	金
補	助	金
受	託	金
事	業	収
共	同	募
介	護	保
就	労	支
障	害	福
雑	収	入
拠	点	区
サ	ー	ビ
繰	越	金
合	計	349,138

支 出



(単位：千円)

法	人	運	営	事	業	92,815
地	域	福	祉	活	動	推
給	食	サ	ー	ビ	ス	事
共	同	募	金	配	分	金
善	意	銀	行	事	業	2,932
居	宅	介	護	支	援	事
居	宅	介	護	等	事	業
障	害	福	祉	サ	ー	ビ
障	害	者	相	談	・	移
ド	リ	ー	ム	ハ	ウ	ス
受	託	事	業			73,835
合	計					349,138

社協事業案内④ ～生活福祉資金貸付事業～

★こんなサービスあったんだ!

生活福祉資金貸付制度とは・・・

低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。本貸付制度は県内の市区町村社会福祉協議会が窓口となって実施しています。



貸付対象

「生活に困っている世帯」への支援としての貸付制度です。

- ・低所得者世帯
- ・障害者世帯
- ・高齢者世帯

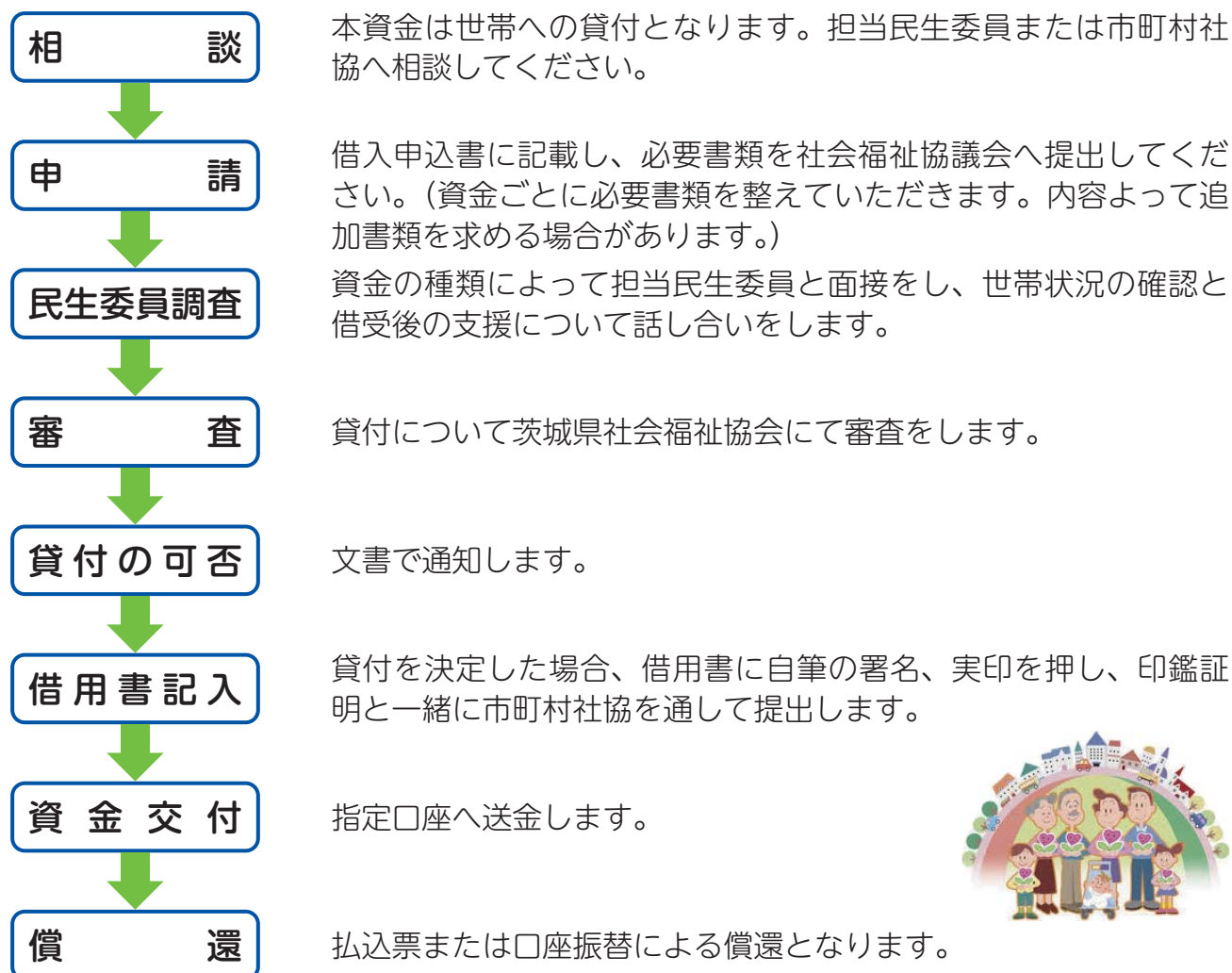
資金の種類

資金の種類

- ・総合支援資金
- ・福祉資金：福祉費
- ・教育支援費、就学支度費
- ・緊急小口資金

資金の種類によって詳細が異なります

相談から貸付までの流れ



自宅でできるボランティア

手作りマスク 1,000 枚 目標達成 (5月12日達成実績 1,758 枚)

**ボランティアの皆さんが
手作りマスクを作ってくれました！！**



昨今の新型コロナウイルス感染拡大により、マスクの品切れが続き、また、外出の自粛要請により、ボランティア活動も一時的に自粛傾向にありました。そんな中、行方市ボランティアセンターでは、今だからこそ「できる人ができることを」を合い言葉に、家でもできるボランティアとして「手作りマスクボランティア」と「ご自宅にあるマスク材料の寄附」を4月22日から行方市社会福祉協議会のホームページとTwitterから募集を始めました。

お陰様で、沢山のマスク材料を皆さんから寄附して頂き、ボランティアは行方市の個人・団体合わせて70人の方からご協力を頂きました。そうして出来た手作りマスクは行方市内にある障害関係事業所に通所されている方や保育園、幼稚園、こども園、小中学校等の職員といった必要とされる人たちへ合計1,335枚を送らせて頂きました。このたびは緊急事態宣言の中、様々な方からお力添えを賜り、本当にありがとうございました。

ボランティアの皆さん ありがとうございました。



※このたび、ご協力頂きました方のお名前を8ページに掲載させて頂いております。

行方市善意銀行

令和2年2月1日から令和2年4月30日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介します。

皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

皆様からの温かいご寄附に心より感謝申し上げます。

皆様からの寄附金・預託金（順不同・敬称略）

寄附金

預託者名	金額(円)	指定先
宇佐美 正巳	20,000	無指定
柳川 真	10,000	無指定
久保田 喜裕	30,000	無指定
塚本 義治	20,000	無指定
鳥次 郁男	20,000	無指定
成田 英男	20,000	無指定
JAなめがたしおさいなめがた青年部	42,031	無指定

物品寄附

預託者名	預託品	指定先
中川 鉦實	マスク 60枚入 ×32箱	社協訪問介護事業所 社協居宅介護支援事業所 ドリームハウス
なめがたしおさい 農業協同組合	晒木綿 20反	無指定
なめがた生活学校	手作り マスク 100枚	行方市地域包括支援 センター
米澤 精一	晒木綿 1反	無指定

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方への特例貸付のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響による休業等による収入の減少があった世帯、また新型コロナウイルス感染症の影響により失業等された世帯に対し、特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）を実施しています。世帯の収入状況に関わらずご利用いただけます。

申込を希望される方は社会福祉協議会へご相談下さい。来所される方は、感染拡大も懸念されていますので事前にご連絡くださいますようお願いいたします。

本資金は貸付金であり、償還（返済）していただく必要があります。

広報委員

委員長	磯山 正子	委員	代々城千尋
副委員長	熊谷 一男		高柳 利子
委員	金井 裕子		大原 孝
	菅谷 京子		横田 照実
	稲川 勝		漢那 浩子

手作りマスクボランティア協力者名

（順不同・敬称略）

氏 名
ボランティアグループさわやか 代表 菅澤トヨ 他5名
麻生高光会 会員 羽生ナル子
一二三会 代表 阿部剛 他4名
子育て支援更女の会 代表 大輪淑子
琴友会 代表 中島道子
錦照会 代表 田野中裕美子
手話サークルほたる灯 代表 高野紀世子 他4名
ボランティアグループ相生会 代表 森田幸雄 他1名
更生保護女性会玉造支部 支部長 田口芙美子
ボランティアグループひだまり 代表 菅谷京子
朗読ボランティア四つ葉会 代表 土子房子 他4名
小高地区給食サービスボランティア 代表 佐々木智恵子 他3名
西小はやしの会 代表 関口照夫
カラオケ親睦会 代表 寺内泰夫 他3名
朗読ボランティア虹の会 代表 小貫敏子 他1名
手話サークルみんなの手 代表 原喜美子 他2名
フードバンクなめがた 副代表 土子巧枝
行方市地域女性団体連絡会 会長 菅谷京子
JAなめがたしおさい なめがた地域 女性部 代表 谷田清子 他8名
JAなめがたしおさい 職員OB 代表 桜井和子 他8名
更生保護女性会北浦支部 支部長 高柳利子
大原 孝
楠 克子
原目 幸美
茂木 愛子
大和田 美穂
新堀 まや
箕輪 永美
霞観光株式会社 社員一同

編集後記

新型コロナウイルス感染症、その広がりとスピードは驚くばかりです。

人は生きるために活動するが、その活動がウイルス感染を広めている。無自覚感染者も多くいて感染を助長しているようでもある。いま有効な治療法は無く、人と人の接触抑制や、マスク、消毒手洗い等が有効な対策のようだ。

いま私たちがすべきこと、それは接触等の感染リスクをできる限り避け、マスク、手洗い等を徹底して行い感染しないことである。一人ひとりのこうした行動は、やがて私達が望む平穏な日々を必ずもたらすはずだから・・・。

熊谷一男

視覚障害など目の不自由な方へ朗読ボランティアの方が朗読した「社協広報紙 あおぞら」や「市報 なめがた」をお届けしています。

希望される方は行方市社会福祉協議会へお申込みください。